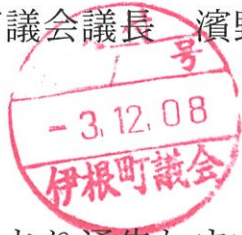


令和3年 12月 8日
8時54分 受領

令和3年 12月 8日

伊根町議会議長 濱野 茂樹 様

伊根町議会議員 佐戸 仁志



一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
ドクターヘリコプターの着陸場の整備を	<p>医療サービスの脆弱な伊根町にとって連絡後10分程度で豊岡病院より医師が帯同し飛来するドクターヘリコプターは1分、1秒を争う心臓疾患、脳疾患の患者にとって大変重要なものである。現在は各学校のグラウンドを緊急借用し着陸時に砂、ゴミを巻き上げ着陸している。</p> <p>伊根地区、筒川下地区、宮津市の田原地区等の患者は、宮津高校伊根分校グラウンドを借用し患者を搬送している。伊根分校グラウンドは廃校後の跡地利用も検討されている事もあり早期に橋北分署近くに舗装され、マークの塗装がされ救急車が接近出来るヘリポートを整備されてはどうか。</p> <p>もちろん伊根地区だけでなく蒲入地区、本庄地区、新井崎地区等に安全に着陸し搬送出来るヘリポートを整備してはどうか。</p>	町長

発言時間 約 15分

- (注)
- 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
 - 2 質問の相手は、町長、教育長とする



9 時 9 分 受領

令和3年12月8日

伊根町議会議長 濱野 茂樹 様

伊根町議会議員 大谷 功

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
○有害鳥獣対策について	<p>・有害鳥獣対策については、フェンスの設置、電気柵の設置、捕獲、追い払いなど伊根町や、京都府、町民の努力で減少傾向にあるように感じているが、まだまだ、サルでは、電気柵等の囲いがなくては作物は栽培できない。イノシシでは、水田や畦畔、水路、法面に侵入されて大きな被害が出ている。</p> <p>最近、特に目立ってきているのがシカによる被害。道路での遭遇もイノシシよりシカに遭遇する確率が高くなっているように思う。</p> <p>農産物被害は、稲、豆類の食害、そばでは壊滅的食害が急激に増えている。</p> <p>従来のワイヤーメッシュフェンスも飛び越えて侵入しているケースが多い。</p> <p>これからは、高さを2.5mにする事や、既存ワイヤーメッシュフェンスの上に電気柵の設置、またフェンスの前にさらに電気柵の設置など、現在は同種類の鳥獣対策の機能向上対策は補助対象外である。</p> <p>これからは、有効と認められるものについては助成する必要があると思われるが、今後のシカ対策について伺う。</p> <p>・電気柵の支柱について最近FRPポールが導入され、増加してきた。設置後年数の経過とともに、破損したものが増えてきているが、処分する先がない。町として処分先について方向を示す事が求められていると思うが、対応策を伺う。</p>	町長
		発言時間 約15 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



令和 3年 12月 8日
9 時 17 分 受領

令和3年12月8日

伊根町議会議長 濱野 茂樹 様

伊根町議会議員 山根 朝子



一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
新型コロナ第3回目のワクチン接種とインフルエンザ予防接種について	①伊根町では速やかに新型コロナウイルスのワクチン接種が行われ、2回の接種終了者は町民の約9割で、重篤な副反応が見られた方もなかったと聞く。今、変異株のオミクロン株への対策が喫緊の課題となっている。新型コロナワクチンの3回目の接種については、12月1日から医療従事者などの接種が始まっている。政府は2回目完了から原則8か月以降としている接種時期を前倒しすることも検討に入ったようである。当町としては令和4年2月下旬からワクチン接種を始めるとのことだが、医療・介護施設の職員などの前倒しの接種は考えているのか。ワクチンの確保状況も併せてお答えいただきたい。②インフルエンザの予防接種についてはワクチンの供給不足がいわれており、当町でも18歳以下の方を優先に接種する方針である。去年はインフルエンザの罹患者は大幅に減少したが、今年はインフルエンザの流行も懸念されている。そのような中でのワクチン不足であり、住民の中にはコロナも怖いのがインフルエンザになる確率のほうが高いのではないかと不安の声も聞く。一時期65歳以上の方もキャンセル待ちとのことであったが、予防接種を希望する方へのワクチンの確保は確実にできるのか。また、国保加入者が町外で予防接種した場合は、全額自己負担となる。町内では接種できないため、仕方なく町外で受けざるを得ないこともある人に対して、費用の援助はできないか。町長の見解を伺う。	町長
	発言時間 約	15 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



令和 3 年 12 月 8 日
9 時 18 分 受領

令和 3 年 12 月 8 日

伊根町議会議長 濱野 茂樹 様

伊根町議会議員 長谷川 貴之

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
運転免許証自主返納者への支援充実を	<p>運転免許証自主返納制度は、高齢者等の運転による交通事故の防止を図るため、運転免許が不要になった方や、加齢に伴う身体機能の衰えで、運転に不安を感じるようになった高齢ドライバーの方が、自主的に運転免許証を返納することができるものである。</p> <p>これは、同居の家族は勿論のこと、遠方におられる家族においては、より一層心配や不安が大きく、家族全員の問題でもある。</p> <p>当町も、運転免許証自主返納支援事業で、「個人番号カード再交付手数料の免除」「丹海バス回数券の交付」若しくは「京都丹後鉄道又は丹海路線バスの6箇月間無料乗車パスの交付」がある。令和2年度自主返納者数は12件であり、その支援物品は、路線バス回数券の交付であった。</p> <p>自主返納しない理由として、「店や病院まで遠いので車がいる」「家族や友人に気をつかう」「まだ運転できる」など良く聞くことがある。</p> <p>運転しておられた方が免許証を返納するということは、行動の自由を失い、生活において不便と不安を感じる場所である。返納者は、ご自身の生活様式が大きく変わるため、決断しなければならない時である。しかし、車がない不便な生活を考えると、免許返納もなかなか決断できないのが現状ではないか。</p> <p>当町の、買い物支援バスの運行、デマンド交通実証実験の結果をもとに、本格運行に期待するが、買い物以外で気軽に、いつでもどこにでも、自分で行ける手段がなければならないと思う。</p> <p>現行の支援事業は一時的なものであり、返納するうえで決断する支援としては、移動手段の選択肢が少ない。</p> <p>支援として、例えば、セニアカー購入補助、三輪電動アシスト自転車購入補助など、自主返納後の安全な移動手段となり、日常生活の支えとなる新たな施策を考えるべきではないか。</p> <p>また、安心して走行できるよう事業所等への依頼による充電ポイントの設置など、地域全体で高齢者を支えるべきと考える。</p> <p>今後の支援について、町長の見解を伺う。</p>	町 長

発言時間 約 10 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。

伊根町議会議長 濱野茂樹 様

令和 3 年 12 月 8 日

10 時 46 分 受領

令和 3 年 12 月 8 日

伊根町議会議員

中嶋 章



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
火葬場の使用 について	<p>昨年度町内で亡くなられた方は 40 名、火葬場の使用率は 9 件で 22.5%、今年度は 11 月末で 6 件と近年は同程度の使用状況と聞いています。利用の少ない状況ではないでしょうか。</p> <p>町の火葬場の利用の少ない要因としては町内に整った葬儀施設がない為に遠くても設備の整った町外のセレモニーホールの利用で葬儀の負担を軽減したいという事があると思われます。</p> <p>近年、葬儀の形式、形態は時代の変化に伴い簡素化しているように感じます。誰しも出来れば最期は生まれ育った地で身近な方に静かに送ってほしいという思いは少なからずあるのではないのでしょうか。</p> <p>コンパクトであっても町独自の斎場と葬儀場の施設が一体しておればより利用しやすいのではないのでしょうか。</p> <p>また、例えば伊根町ふるさと振興公社を活用して葬儀、斎場、会食の流れを作る事が出来れば新たな地域の雇用が生まれ、町内に増えつつある飲食店にも経済効果が期待出来ると思われます。</p> <p>町の火葬場の使用のあり方について見解を伺います。</p>	町長

発言時間 15 分



令和 3 年 12 月 8 日
10 時 53 分 受領

令和 3 年 12 月 8 日

伊根町議会議長 様

伊根町議会議員 上辻 亨 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
ドローン等の ICT を活用した有害鳥獣対策について。	<p>(1) 当町ではシカが作物を食べる被害が増加していると生産者から聞きます、またイノシシによる法面崩壊等、電気柵や金網、鉄柵などを設置しているが侵入防止柵だけでは被害が減らない状況にあります。京都府猟友会では鳥獣確保の向上、捕獲作業の負担を減らすためドローンを活用する方法を全国初となる取り組みをされております、シカ、イノシシの位置を特定し犬の鳴き声を発するスピーカーを搭載したドローンを活用した新たな取り組みをされております、また、最近ではクマの出没、サルによる被害もあり追跡や行動パターン、追い払い等もこのドローンで出来るのでは無いかと考えます、当町でもこのような取り組みの考えはないでしょうか。</p> <p>(2) 当町では有害鳥獣捕獲などの社会活動に貢献できる若い狩猟者が少ない、町内に居られる狩猟者も段々と高齢化していく中で、若い狩猟者を育成する必要があると考えるが、育成していくような取り組みの考えはないでしょうか。</p>	町長

発言時間 約 15 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること
2 質問の相手は、町長、教育長とする。